

## 6. 環境にやさしい事業活動の推進

(1) 環境への負荷を低減する事業活動の推進 (2) 農業における環境保全機能の向上 (3) 森林資源の活用 (4) 地域資源の活用	(リーディング事業) 6-1 森林吸収源活用によるCO2削減推進事業
---	---------------------------------------

### ○防犯灯LED化の推進

飯田市内には、約6,000灯の防犯灯があります。地域安全の活動の中で、夜間における防犯灯は重要な役割を担っています。平成21年1月に「環境モデル都市」の認定を受けたことを契機に、環境省の支援を受け防犯灯のLED化を進めています。

導入当初は市販の防犯灯が高額であったため、地元企業で構成している精密・電子製造を担う共同受発注グループ（(財)飯伊地域地場産業振興センターに所属）にLED防犯灯の開発を依頼したところ、18社による2つの企業グループが開発・製造にチャレンジし製品化【写真】に成功しました。この製品の特徴として、消費電力の縮減（温室効果ガスの削減）、安価な製品、地域内企業の連携などがあげられます。

平成21年度中に半数の3,000灯についてLED化を実施しました。今後は年600灯/年ずつ5年計画(26年度まで)で全灯を整備していきます。

LED防犯灯の製品開発により、複数の企業が連携し共同開発につながったことや地域と企業が一体となって取り組むことができたことは大きな成果であり、中小企業を取り巻く厳しい環境の中で、地域経済活性化の一役となる取組みであったと自負しています。

引き続き、産官連携を通じて、企業はさらにグレードアップを目指し、地元への普及と地域外への積極的な販路開拓を行い、さらに、防犯灯のみならず体育施設や商店街、駐車場等で使用されている各種照明のLED化に向けた新商品の開発にも積極的に取り組んでいきます。



## 6 環境にやさしい事業活動の推進

### (1) 環境への負荷を低減する事業活動の推進(地域ぐるみ環境ISO研究会事業者の取組)

実施主体	実施事項
イワタニ長野(株)飯田支店	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太陽光発電システムの提案・販売・施工。</li> <li>○ エネファーム(家庭用燃料電池)の提案・販売・施工。</li> <li>○ 省エネで燃焼効率が優れているエコジョーズ(高効率ガス給湯器)およびエコフィール(高効率石油給湯器)を多数販売・施工。</li> <li>○ 商品の梱包等で不要になった発泡スチロールは溶剤で溶解し、リサイクル活用に努めている。</li> <li>○ 商品の梱包等で不要になったダンボールは分別し、回収している。</li> <li>○ 全社で毎月第2水曜日はノー残業デーを実施している。</li> <li>○ 2009年9月より、地域ぐるみISO研究会に加入。 ノーマイカーウィークなどの一斉行動や各種イベントに参加。</li> <li>○ 南信州いいむす21 登録。</li> </ul>
(株)マエダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飯田市から、レンタル自転車を借りて、通勤、近隣へ用事に使用し、自家用車、営業車の利用をし、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。</li> <li>(2) 従業員へ体験をしていただく為飯田市からのエコカー(電気自動車)の申し込みを行ないました。</li> <li>(3) 産業廃棄物協会からの依頼で、松川インター付近の清掃活動の実施(年1回実施)。</li> <li>(4) 毎週会社周辺の清掃活動と、松川河の草刈作業の実施。</li> <li>(5) 松尾明地区の河川清掃への協力。</li> </ul>

実施主体	実施事項
オムロン飯田（株）	<p>&lt;省エネ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱源設備への断熱材取り付けによる空調負荷低減</li> <li>・ エア漏れチェックの定期運用システム構築と実施</li> <li>・ 生産ラインの非稼動時空調設定見直しと給排気最適化による電力削減</li> <li>・ 熱源設備のON/OFFタイマー設定見直しによる待機時間の短縮</li> <li>・ 外調機インバータ周波数設定変更による省エネ</li> </ul> <p>&lt;省資源&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子化によるコピー用紙の削減</li> </ul> <p>&lt;リサイクル&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物を、中間処理量・再資源化量・最終処分量に区分けして、最終処分までの実質再資源化率05年7月から98%以上を達成。以降現在まで98%以上を維持。</li> <li>・ 一般廃棄物の再資源化不可物を再資源化へ転換</li> </ul> <p>&lt;グリーン調達/購入&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕入先全社を対象にグリーン調達を実施</li> <li>・ 事務用品のグリーン購入実施</li> </ul> <p>&lt;化学物質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉛フリー化の推進</li> </ul> <p>&lt;アセスメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品アセスメントの実施</li> <li>・ 設備アセスメントの実施</li> <li>・ 化学物質アセスメントの実施</li> </ul> <p>&lt;地域貢献&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社周辺のごみ拾い 3回/年実施</li> <li>・ 福祉施設の清掃、カーブミラー拭き 1回/年実施</li> <li>・ 会社周辺の草刈 4回/年実施</li> <li>・ 地域の会社見学受入れによる啓蒙活動実施（随時）</li> <li>・ 親子で水質調査（リサイクルシステム研究会主催）へ参画</li> <li>・ INAコピー用紙回収システムへ参画</li> </ul>
化成工業（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成形工程において発生した廃プラの社内リターン化によるリサイクルの推進。</li> <li>・ 回収業者と協力して廃プラの分別徹底と再資源化推進。</li> <li>・ 成形機ヒーター部へ断熱器具取付けによる余剰加熱電力抑制。</li> <li>・ 工場照明の一部を水銀灯から蛍光灯へ変更し電気使用量低減。</li> <li>・ 照明機器をセンサー式に改良し節電。</li> <li>・ 会社周辺及びR153のゴミ拾いなど地域の美化清掃を実施（8月）。</li> <li>・ 産廃処理品の資源回収化の推進。</li> </ul> <p>資源の浪費を抑えると共に生産効率を犠牲にせず経費節減に結びつける努力をしている。</p>

実施主体	実施事項
神稲建設（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本社では毎朝飯田市主税町の道路と緑地帯の環境清掃を行っております。</li> <li>・ 高森事業センターでは毎朝事業所周辺の環境清掃を行っています。</li> <li>・ 全社で毎週水曜日はノー残業デーを実施しております。</li> <li>・ 毎月第二水曜日はライトダウンの日と定め実施しております。</li> <li>・ 高森事業センター・くましろホールに省電力機器を設置し電力削減を行っております。</li> <li>・ 産業廃棄物減量化・適正処理実践協定を結び、産業廃棄物の一層の減量、再資源化に取り組んでいます。</li> <li>・ バイオ生ゴミ発酵消滅機（シンクピア）の代理店となり販売・取り付けを行っております。（生ゴミをバイオの力で水と炭酸ガスに分解）</li> <li>・ 飯田市の自転車市民共同利用システム（レンタサイクル）に参加し通勤・業務に自転車を利用し、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。</li> </ul>
シチズン平和時計（株）	<p>（省エネ・省資源の取組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ものづくりにおける効率化の推進</li> <li>○環境配慮型製品・設備の開発の推進</li> <li>○紙使用量の削減活動</li> <li>○ノーマイカー通勤運動・出張時公共交通機関の利用促進</li> <li>○ハイブリット車の導入（2台）</li> <li>○廃棄物の削減活動</li> <li>○一斉行動週間に参加 （地域社会への貢献活動）</li> <li>○「天竜川水系環境ピクニック」に参加（毎年5月）</li> <li>○5月30日（ゴミゼロの日）に工場（4工場）周辺のゴミ拾い</li> </ul>
中部電力（株）飯田営業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境方針・重点目標を定め活動を展開しています。</li> <li>○地域における植樹活動に取り組んでいます。</li> <li>○出前教室を開催しています。（学校に当社社員が出張して、環境エネルギー教室などを開催しています。）</li> <li>○地球温暖化問題への対応に焦点をあて、家庭でできる省エネルギー・省CO<sub>2</sub>活動の情報を提供しています。</li> <li>○事業場周辺道路のゴミ拾い、事業場隣接の桜並木の除草・落ち葉拾いを行っています。</li> <li>○天竜川水系環境ピクニックへ参加しています。</li> <li>○地球温暖化防止一斉行動週間へ参加しています。</li> <li>○県下一斉ノーマイカー通勤ウィークおよび地球温暖化防止一斉行動週間へ参加しています。</li> </ul>

実施主体	実施事項
<p>(株) トーエネック 飯田営業所</p>	<p>1. 電気使用量の維持            目標値： 平成21年度電力使用量実績を維持            具体的活動： ・室内照明の未使用時消灯                              ・空調機設定温度の確認（夏季28℃以上、冬季22℃以下）            ・電力使用量の実績把握</p> <p>2. 産業廃棄物の再資源化            目標値： 産業廃棄物の再資源化を維持            具体的活動： ・定められた区分に従って廃棄物を分別                              ・排出量の実績把握</p> <p>3. 地域貢献活動の実施            目標値： 地域貢献活動を2回以上実施            具体的活動： ・事業場周辺の清掃活動または地域貢献活動を実施</p>
<p>夏目光学(株)</p>	<p>(1) CO2削減            ○ノーマイカー実施対象者（代替え通勤手段のある者）に年24回のノーマイカー通勤協力要請→未達成者にはレポートを提出させ、環境に対する意識向上を図る。            ○社内の全生産設備に、一時間当たりの使用電力量・電気料金・使用電力量から換算した排出されるCO2の量を表示し、社員に意識付けを実施。            ○不良損失金額から、CO2の排出量を計算し、今期不良削減により54.4tのCO2削減を目指している。            ○デマンド監視装置を設置し、デマンド警報が鳴った際稼働を停止する装置を予め定め、デマンド警報発令時には即停止させ目標電力量を上回らないようしている。</p> <p>(2) ISO14001に基づいた環境マネジメントシステムの構築継続            ○2010年10月更新審査受審            ○より効果的なシステムになるよう継続的改善実施            ○当社だけでなく調達先にも環境に関する取組みの依頼実施</p> <p>(3) 地域環境美化活動            ○2010年11月6日に、本社では会社周囲の清掃・松川河川敷公園・矢高神社清掃、川路にあるテクノロジーセンターでは周辺のゴミ拾い、東京営業所では近くにある公園の清掃を実施。</p> <p>(4) 廃棄物の分別・リサイクル率の向上            ○廃棄物の分別の徹底の継続            ○リサイクル率の向上を目指した調達の実施</p>

## 6環境にやさしい事業活動の推進

### (1) 環境への負荷を低減する事業活動の推進

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
公共下水道事業の見直し	公共下水道事業の残事業調査を行い、現状の計画対象となっている建物については、集合処理対象地域であっても関係地域の理解を得ることを条件に個別処理による対応を図るなどの見直しを行いました。その結果、線路延長約7kmを削減し、事業費の減額を図りました。	事業量の減による約250tのCO2排出削減を図りました。	水道業務課 下水経理係	なし	
環境調整会議	環境に配慮した公共事業を実施するため、市役所庁内に「環境調整会議」を設置し、対象となる市の事業を定め、総合的な調整を行っています。事務事業進行管理表の策定時に環境調整会議の有無をチェックし、年間の環境調整会議の開催予定をたて計画的な開催を行っています。環境調整会議がISO14001システムや公共工事環境配慮評価要領などにより関連を深め、効率の良い運用を図るため、より現場に近い課長職で環境調整会議を組織し、ISO14001で定める環境管理責任者でもある水道環境部長を会長として、平成17年4月から新しいシステムとして運用しています。	飯田市が行う公共事業の実施にあたり、環境調整会議を行うことにより、環境に配慮した事業実施ができます。	環境課	なし	
南信州いいむす21の取組	登録事業所からの取組状況報告を廃止し、直接、研究会が登録事業所を訪問して取組を支援するシステムに変更しました。22年3月末現在の登録事業所数53社。	環境マネジメントシステムを通じた各事業所の環境改善のための行動と、行動を通じた意識づくりにつながりました。	地域ぐるみ環境ISO研究会 地球温暖化対策課	なし	
地域ぐるみ環境ISO研究会の活動	31の事業所により構成する研究会活動を実施しています。 飯田・下伊那地域で独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の普及を通じて、地域全体の環境改善活動のレベルアップに取り組む活動をしています。 →事業所の取組詳細は別表「地域ぐるみ環境ISO研究会事業者の活動」のとおり	研究会活動を通じて地域の事業所が連携し、環境改善への取り組みが展開されています。	地球温暖化対策課	なし	
市役所の環境改善活動への取組	市役所本庁舎を対象としたISO14001自己適合宣言を行い、引き続いて環境改善活動への取組を行なっています。102の出先機関のうち29は本庁舎と同様にISO14001自己適合宣言の適用範囲とし、残りのうち50部署では独自の環境改善活動「いいむす21」に取り組んでいます。	市の事業における環境負荷の低減が図られました。	地球温暖化対策課	464,482	04-01-05 (ISO14001推進事業費)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
研究会の立ち上げと環境関連技術センターの設置の研究	<p>飯田市環境技術開発センターのISO14001は、平成20年2月に更新審査を合格し、平成21年2月の2年次サーベイランスも無事終了しました。</p> <p>センターの環境に対する積極的な取組みの大きな点は次の2点です。</p> <p>①センター入居企業による『環境に配慮した研究開発』の実施 ②センターの『省エネ活動』『エコ運転の実施』『ごみのリサイクル活動』の実施</p>	センター入居企業、環境産業公園内企業及び近隣企業にISO14001・南信州いいむす21の普及を推進します。センター内の環境活動を実施し、省エネ・省資源活動や環境美化につながります。	工業課	7,612,295	07-01-05 (地域内発型産業創造支援事業費)
環境産業公園などに進出する企業の環境への配慮	<p>○桐林環境産業公園 産業公園内に立地する企業で構成する環境会議を随時開催し、環境への取り組みについて検討しています。工場の増築の計画については「環境整備方針」に沿って、整備計画の検討を行いました。工業団地内外の企業・事業所等とともに環境産業公園連絡協議会を組織し、環境産業公園内の草刈りなどの環境美化活動を行いました。</p> <p>○一本平産業団地 立地企業により構成する「環境会議」を設置し、環境宣言の実施と環境整備方針、公害対策自主基準を設け、管理しています。また、産業団地内の草刈りなどの環境美化活動を行いました。</p> <p>○経塚原産業団地 立地企業の環境及び景観配慮に関する「環境整備方針」を定めました。</p>	独自の環境宣言と環境整備方針により、環境に配慮した企業設備の設置と会社運営が行われており、近隣地域にも理解を得ています。	工業課	3,148,571	07-01-05 (企業立地費)
環境配慮型新商品の販売促進の支援	<p>飯田市内の事業者などが開発又は製造した環境配慮型製品の販売を支援するため、平成13年度に市独自の認定制度を創設しました。平成21年度末現在で認定数は14件です。</p> <p>「資料編 第5章 4 ぐりいいんだ一覧」参照</p>	認定製品をPRし、使用普及させることにより様々な分野の環境に対する負荷を低減することが出来ます。	工業課		

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
監査 (CO2排出量の見える化)	<p>定期監査資料及び監査報告書においてCO2排出量の「見える化」を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H21.5.15 教育委員会 (小中学校、共同調理場)</li> <li>・H21.5.18 保健福祉部 (保育園、幼稚園)</li> <li>・H21.10.30 教育委員会 (学校教育課、生涯学習・スポーツ課、市公民館、美術博物館、歴史研究所、文化会館、中央図書館)</li> <li>・H21.11.4 産業経済部、農業委員会</li> <li>・H21.11.6 保健福祉部、危機管理部、会計課</li> <li>・H21.11.9 企画部、水道環境部 (水道局含む)、建設部</li> <li>・H21.11.11 自治振興センター</li> <li>・H21.11.13 総務部、選挙管理委員会</li> <li>・H21.11.17 市立病院、市議会事務局 (報告)・H22.2.8 監査報告書IV</li> </ul>	<p>CO2排出量の数値化により</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量が他課等と比較されることにより、削減が期待される</li> <li>・排出量の経年変化の把握ができる</li> <li>・各課等の自己管理が期待される</li> </ul>	監査事務局	なし	
公共建築物整備規程による、環境への配慮の推進	<p>公共建築物は公共建築物整備規定に基づき、省資源・省エネルギーの推進、新エネルギーの活用、廃棄物の削減、リサイクルの推進等により環境への配慮を行うこととしています。</p>	<p>公共建築物の環境負荷低減に成果を上げています。</p> <p>不特定多数の方が利用する建物では普及啓発効果が期待されます。</p>	地域計画課	なし	
開発行為等に対する指導	<p>土地利用調整条例、景観条例、緑の基本条例及び屋外広告物条例を制定して、いずれも平成20年1月1日に施行 (公表) しました。届出があったものについては基準に適合する計画となるよう指導しました。平成21年度 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) の行為の届出件数は、土地利用調整条例32件、景観条例53件、屋外広告物条例17件でした。</p>	<p>一定規模以上の開発等の把握、指導により、良好な景観づくりにつながっています。</p>	地域計画課	なし	
防犯灯のLED化	<p>市内に6,000灯有する防犯灯の内3,000灯をLED化しました。このLED防犯灯は、地元企業が開発・設計・製造・販売するものであり、地域産業の活性化にもつながりました。</p>	<p>電気代の軽減、耐久制の向上、地場産業の振興消費電力の減少、長寿命による維持管理費の軽減</p>	<p>危機管理・交通安全対策室 工業課 飯伊地域地場産業振興センター まちづくり委員会</p>	103,508,000	04-01-05 (環境モデル都市推進事業費)



施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
環境ビジネス起業セミナー	10/2(金)～4(日)の3日間、鼎商工会館を会場に「環境ビジネス&コミュニティビジネス起業セミナー」を実施しました。自然エネルギーや環境問題、地域づくりに関心のある方28名が受講しました。	自然エネルギーの普及や環境課題に対応したビジネス、及び、環境への意識の高い事業者の育成を図ります。	商業・市街地活性化課 NPO南信州おひさま進歩	350,000	07-01-02 (商業活性化総合支援事業費)

(2) 農業における環境保全機能の向上

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
地元農産物を地元で消費できる仕組みづくり (学校給食、保育園など公共施設の給食への地元農産物供給利用システムづくり)	産業経済部内に設置した域産域消プロジェクトで、公共給食における地元農産物の利用に取り組み、次のような成果を上げました。 ○地元農産物の5月から11月における主要10品目の使用量56.7t、使用率37.4% ※主要10品目…ニンジン、玉ねぎ、ジャガイモ、ほうれん草、小松菜、キュウリ、トマト、アスパラガス、キャベツ、ピーマン ○学校や保育園において給食と連動した地域食材の日を設定し、身近な食材に親しみをもち活動	園児、児童の地元食材への関心が高まり、域産域消の意識が高まった事は、結果としてフードマイレージの削減にも繋がりました。 また、統計期間を地元農産物が露地栽培可能となる期間としたことにより、農作物自体の低炭素にも繋がります。	農業課		
有機質堆肥などによる良好な土づくりの推進	「生活と環境まつり」で有機質堆肥利用の普及啓蒙を図りました。	有機堆肥利用促進による化学肥料に偏らない環境に配慮した土づくりと循環型農業の確立に効果がありました。	農業課	なし	
回収とリサイクルシステムの確立	農業用廃プラスチック適正処理推進事業打合会を開催し(11月26日)、廃プラスチック、不要農薬回収事業についての打合せを行いました。	農業協同組合、資材販売業者等を含めた回収体制の確立に効果がありました。	農業課	200,000	飯田市園芸振興対策委員会から補助

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
低農薬、減化学肥料の推進	土壌分析に基づく適正な施肥を行うため、土壌分析を推進し分析結果を農家に返還しました。分析件数 620地点（野菜464点、果樹120点、花卉31地点、水稻3点、大豆1点、コンニャク1点）	化学合成農薬の削減、適正施肥による環境負荷低減の推進体制ができました。	農業課	310,000	飯田市園芸振興対策委員会から補助
中山間地域等直接支払事業	次のとおり中山間地域における条件の不利な田畑を遊休化させない集落協定を締結しています。 ○協定集落数 25 ○参加農家数 847人 ○協定締結面積 214ヘクタール	協定内農地や周辺の農道・水路の保全を集落ぐるみで行うことにより、農村の景観保全に努めています。	農業課	36,844,776	06-01-03 (中山間地域等直接支払事業)
中山間地域における循環型生活環境整備の推進	天竜川以東の地域及び三穂地区において通年を通じ214ヘクタールの農地の耕作管理、集落美化活動を通じた地域づくりが行われました。	中山間農用地の荒廃化防止、集落での連携強化、環境美化につながりました。	農業課	666,832	06-01-03 (中山間地域等直接支払事業：推進事業分)

(3) 森林資源の活用

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
*カーボンオフセット交流（渋谷区・横浜市との交流）	渋谷区とは防災協定の関係や、体験教育旅行の関係を構築する中で、環境をテーマにした地域間交流を検討し始めています。ヒートアイランドが深刻な渋谷区では、区民を対象に緑の大切さを知ってもらう「みどりの環交流」を推進することとなりました。10月には渋谷から小学生が訪れ下久堅地区・座光寺地区の住民と植林などを通して交流を行いました。また、2月には森林資源に基づくカーボンオフセット交流に基づき、横浜市地球温暖化対策推進協議会のメンバーが中心となって千代地区を訪れ、森林の現況を体験しながら交流を行いました。	地球温暖化対策という国全体の共通課題により、新たな地域間交流へと発展する可能性があります。特に渋谷区とは地域が主体となって取組んでいける方向性を見出すことができました。一方、横浜市との交流を醸成していくには、方向性などを検討するなど、一定の時間が必要です。	座光寺地区 下久堅地区 千代地区 地球温暖化対策課	300,000	04-01-05 (環境モデル都市推進事業費)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
伊那谷の森 で家をつくる会	「伊那谷の森で家をつくる会」は、健全な自然環境、豊かな伊那谷の景観を創造することを目的に平成14年1月に発足しました。また、平成19年1月に策定した「飯伊地域林業将来ビジョン」により森林組合が中心となり南信州木づかいネットワークを構築し地域の木材の活用と流通改善の方向性が示された。これにより、「伊那谷の森で家をつくる会」で行っている工務店・設計士・製材所のグループによる地域材振興を飯伊地域に拡大することとなりました。地域産材活用に対する補助については、県では施主に対し1棟40万円の補助を行い、飯田市でも、飯田市産材で住宅を建築した工務店等に使用割合に応じて、1棟2万円～6万円の補助金を交付した。地域材を利用した公衆トイレを沢城湖に設置した。また、ペレットストーブ設置補助金を3件に交付しました。	イベント展示等でのPRを通じて地元産材の普及が期待されます。	林務課	460,000 300,000 906,000	06-02-02 (森林資源活用推進事業費) 06-02-05 (地域材利用施設整備費)

(4) 地域資源の活用

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
就農相談窓口の常設ワーキングホリデーの推進	就農相談窓口の常設(新規就農希望者への農地の紹介)	遊休農地の解消による環境保全が期待されます。高齢農業者のモチベーションアップによる農業経営の維持が期待されます。	農業課	5,998,476	06-01-03 (新規就農者支援事業費)
ワーキングホリデーの実施	農業や農村に関心を持ち真剣に農業をやりたい方や就農を考えているが具体的な方法や手段がわからない方々と、繁忙期の手助けや後継者が欲しい農家を結び、お互いの足りないところを補う「パートナーシップ事業」です。 平成21年度は、春2回、秋2回、通年で468人が延べ2,114日飯田市を訪れました。	農山村の良さの認識度アップにつながります。新規就農者の獲得につながります。	農業課	前掲のとおり	06-01-03 (農業担い手誘致事業費)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体	H21決算額 (円)	款・項・目 (細々目名)
農村体験ツアー、カントリーウォーク、市民農園、オーナー制度など多様な交流事業の推進	農家等による市民農園の開設が行われています。小野子と下栗のクラインガルテンは満員で使用されており、都市住民との交流が実施されています。	都市部との交流が期待されます。	農業課	なし	
*体験教育旅行、南信州こども体験村	○体験教育旅行の入り込み団体延べ340団体、延べ22,000人 ○南信州こども体験村(都市部の小中学生) 3泊4日 小学3年生から中学3年生 10人 7泊8日 小学4年生から中学2年生 8人	環境を意識する市民が増加しました。 地域の自然、文化を市民が見直す機会となっています。	観光課	0	(株)南信州観光公社